



私の中で今

生きているあなた

*Inside me, you are alive now*

題字は日高恵舟さんの作

パネル展の足跡

2013年度ラッシュュジャパン助成事業



助成：ラッシュュジャパン

## ごあいさつ

「私の中で今、生きているあなた」パネル展は  
2007年4月に京都で第1回目を開催した。  
2005年8月に25歳で亡くなった片山飛雄馬さんの  
遺稿と生涯を伝えることから始まった。  
幸いにも日本財団の助成を5年連続で頂き、北は北  
海道旭川・札幌から南は鹿児島・沖縄まで36回開催  
できた。2009年3月14日には自殺対策室のある内閣  
府の特命大臣野田聖子さんを迎えた。  
37回目は来年3月島根県大田市で市の全面協力で開  
催される。  
日本は地震と津波による大きな被害を受けた。  
東北被災地での開催は悲願であったが本年ラッシュ  
ジャパンの助成で実現できた。  
福島、宮城での開催も来年実現したいと願っている。  
  
自死遺族の悲しみを伝えるたびはまだ続く。

特定非営利活動法人  
働く者のメンタルヘルス相談室  
理事長 伊福 達彦

# 第34回パネル展2013年6月IN那覇

## (助成:ラッシュジャパン)

パネル展2007年開始から34回目で沖縄が実現した。スタッフ2名、自死遺族2名、専修大学の大学院生と5名で対応した。見学者は334名であった。



首里城



那覇会場風景



琉球放送で紹介



NHKの取材と放送  
2013. 6.21

沖 縄 タ イ ム ス 2013年(平成25年) 6月21日 金

### 自死遺族 悲痛な思い 問題考えるパネル展

2013.6.21 29th

身内が自殺に追い込まれた遺族の思いを伝えるパネル展「第34回私の中で、生きているあなた」が20日、那覇市の県立博物館・美術館で始まった。過労やうつ病、学校でのいじめが原因で亡くなった人たちの遺族の無念や悲しみをつづった手記や写真が展示されている。大阪市のNPO法人働く者のメンタルヘルス相談室が主催の全国巡回展で、沖縄開催は初めて。伊藤彦彦理事長は「遺書や手記を見てもうって自死した人の尊厳を回復し、遺族の思いを伝えて自死の予防につながる」を話し、来場を呼び掛けた。23日まで、入場無料。

**那覇 23日まで**

パネル展に合わせ、仙石由衣と馬取真の自死遺族グループ代表も来県し、県内の遺族とのつながりについて期待している。

2005年に福岡警備の警部補だった息子を亡くした仙石は「展示には身内の会を立ち上げた田中幸子さん(64)も、写真や記録ならなかったのか、メッセージがある。多くの人に原因と必要な対応を考えてもらいたい」と話した。会場には、子どもから社会人まで、さまざまな50人のパネルが並ぶ。いじめが原因で亡くなった中学生は「暴力はなかったが暴力が非難だった。ぼくは死ぬ」と苦しさを吐露した展示など、自死問題について考えさせるメッセージが多くある。

亡くなった息子・健一さんの写真の前に「見守り隊」遺族のあり方について、田中幸子さん(20日、那覇市)の県立博物館・美術館

# 第35回パネル展2013年7月IN広島 (助成:ラッシュジャパン)



地元広島の自死遺族  
グループの全面支援で  
実現。  
米山容子さんは娘の写  
真を展示した。亡くな  
ったときは25歳だっ  
た。見学者数は230  
名

広島会場風景

広島テレビで紹介



広島会場風景

広島会場風景

# 第36回パネル展2013年9月IN盛岡

(助成:ラッシュュジャパン)

初めて被災地で開催。テレビ岩手と岩手日報で紹介見学111名



テレビ岩手2013. 9.11

自殺テーマに写真、パネル展  
盛岡の県民会館  
自殺した人の写真や遺書、遺族のメッセージなどをパネルで紹介する「私の中で今、生きていくあなた」は11日、盛岡市内丸の県民会館第1展示室で始まった。14日まで。

大阪市北区のNPO法人「働く者のメンタルヘルス相談室」(伊福達彦理事長が主催。故人の生前の写真、遺族が会いたい気持ちをつづった手紙など約150点を展示した。警察庁などによる

岩手日報2013. 9.12



会場近くを山車が通った

いう。伊福理事長は「いじめや過労によるうつ病などで大切な人を失った遺族の声を伝えたい」と語る。

中学校の担任教員との不和から抑うつ状態になった息子の大地さん「当時(19)をしくしく」と語る。

井京子さん(64)は「本人の気持ちの問題は周囲も気付きにくい。つらくなったときに助けてくれる社会になってほしい」と願う。

午前10時から午後5時。入場無料。